

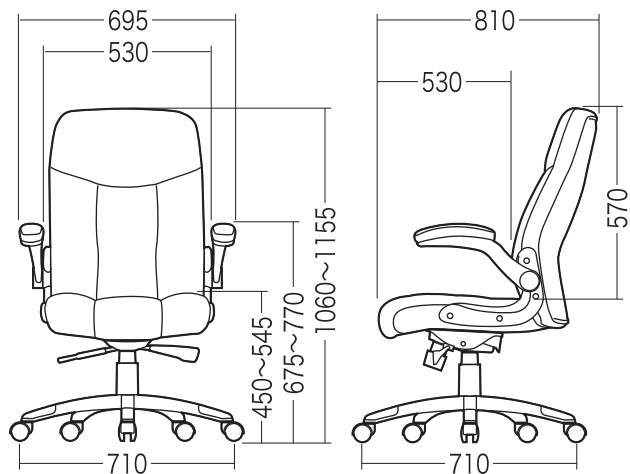
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
このリクライニングチェアは組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

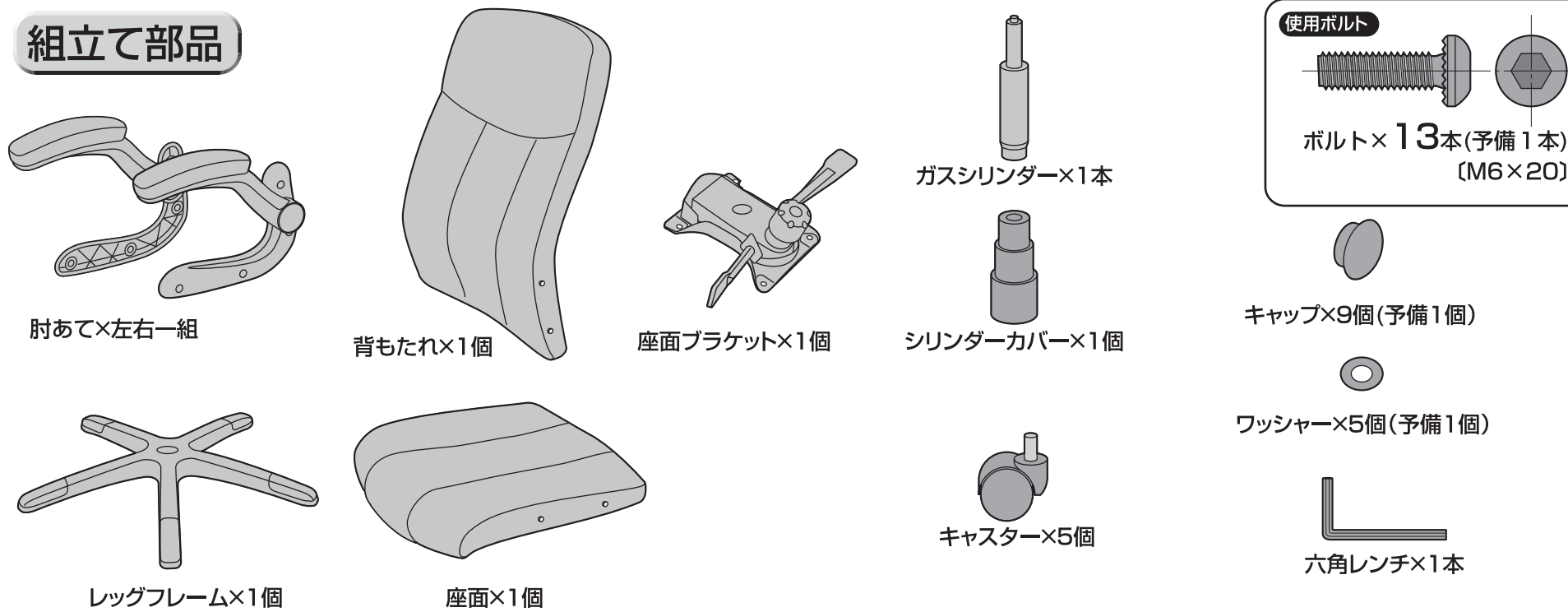
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの……
手袋(組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください)

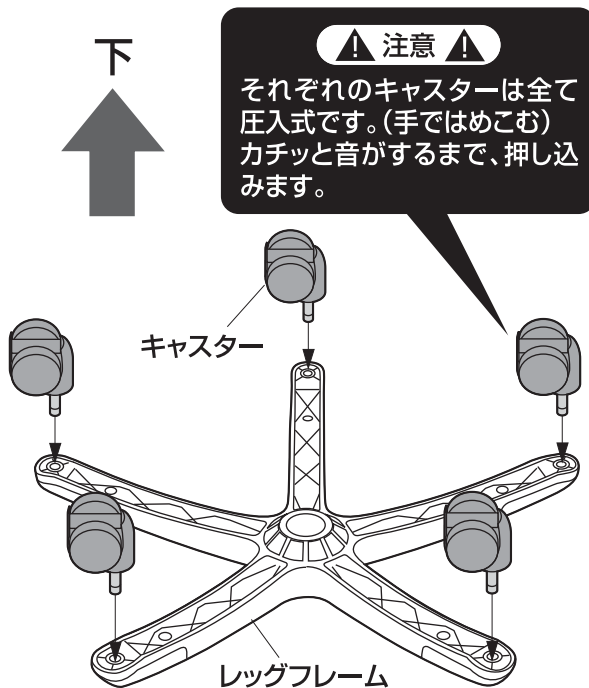
完成図



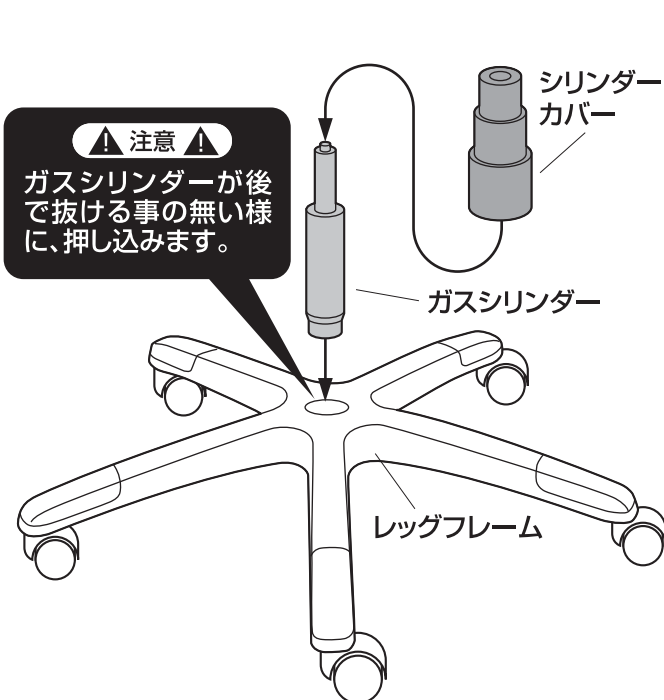
組立て部品



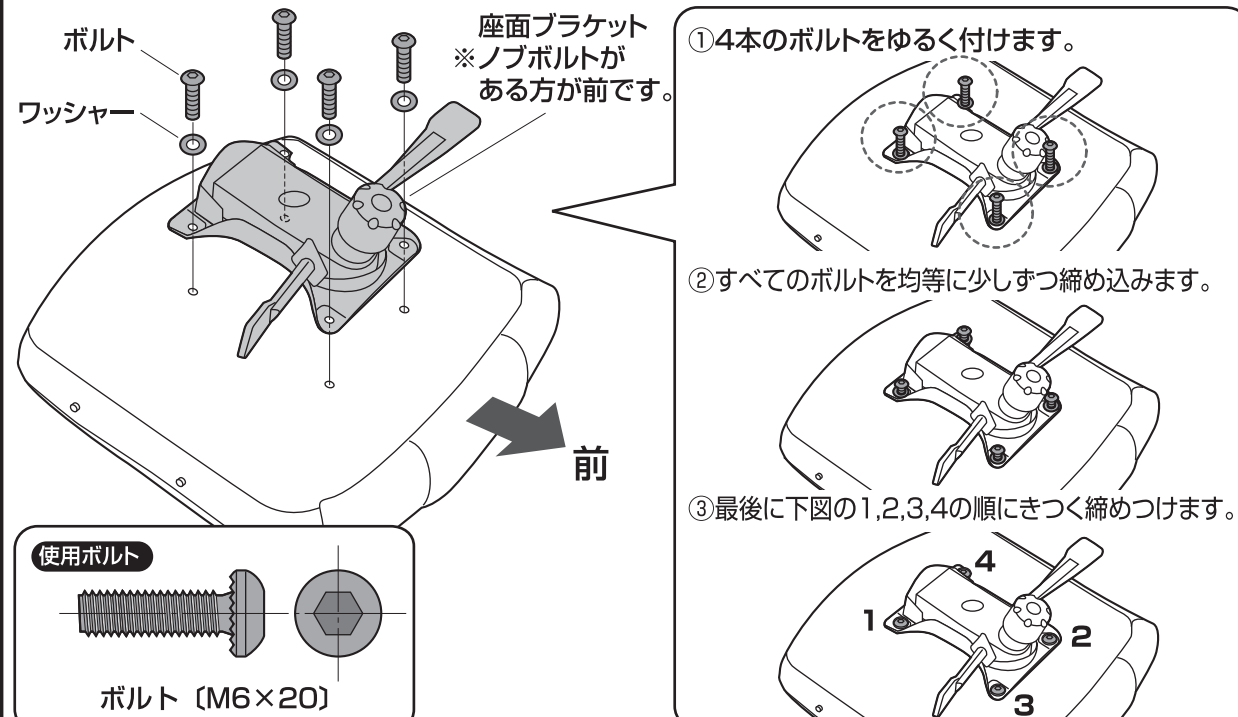
1 レッグフレームをひっくり返し、
キャスターを取付けます。



2 レッグフレームにガスシリンダーと
シリンダーカバーを取付けます。



3 座面裏側に座面ブラケットを取付けます。

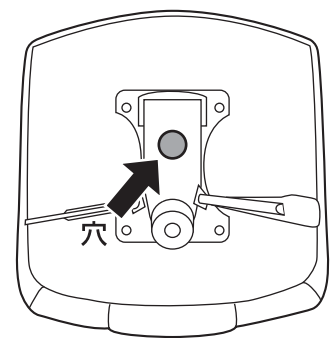


4

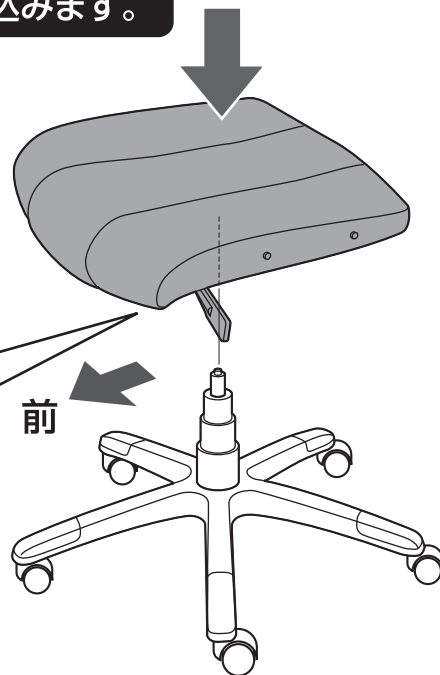
ガスシリンダーに座面ブラケットを差し込みます。

座面に座り、体重をかけて押し込みます。

下から見た図

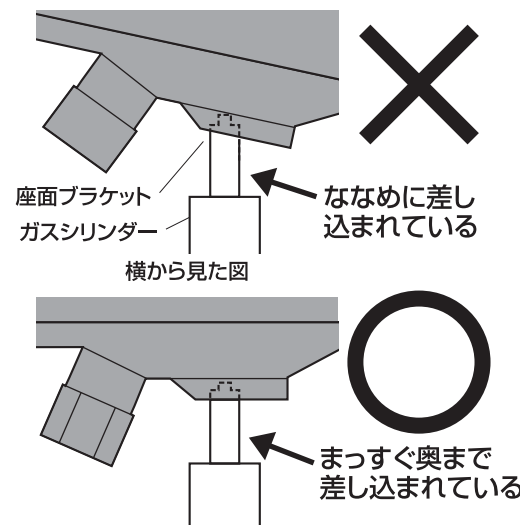


前



⚠ 注意 ⚠

座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面ブラケットがななめに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。

座面ブラケット
ガスシリンダー

横から見た図

まっすぐ奥まで
差し込まれている

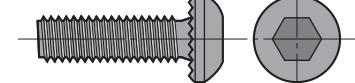
5

座面に肘あてを取付けます。

肘あて(R)

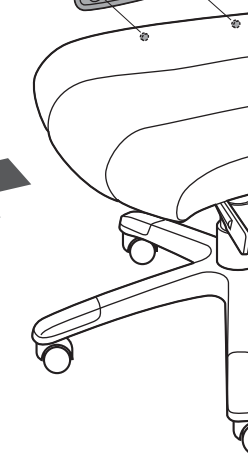
ボルト

使用ボルト



ボルト (M6×20)

前



肘あて(L)

ボルト

※ボルトは、ゆるめに付けます。最後まで締めると背もたれが取付けにくくなります。

6

肘あてに背もたれを取付けます。

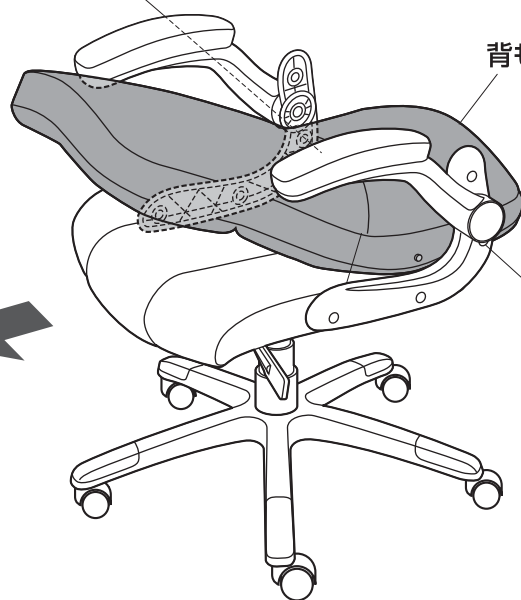
ボルト

※ボルトは、ゆるめに付けます。最後まで締めると背もたれが取付けにくくなります。

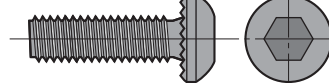
背もたれ

ボルト

前



使用ボルト

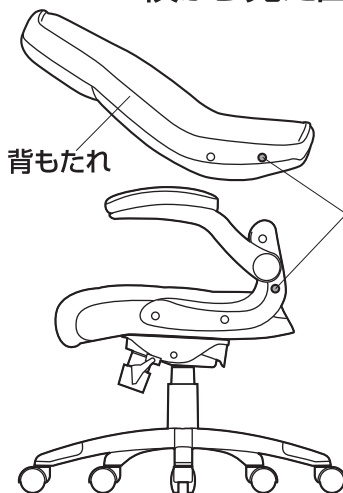


ボルト (M6×20)

横から見た図

背もたれ

穴を合わせて、ボルトで固定します。



7

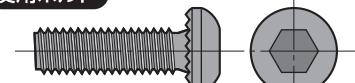
背もたれを起こし、肘あてと背もたれを固定します。

※肘あてのボルトをすべて(片側4ヶ所)最後まで締めます。

背もたれ

ボルト

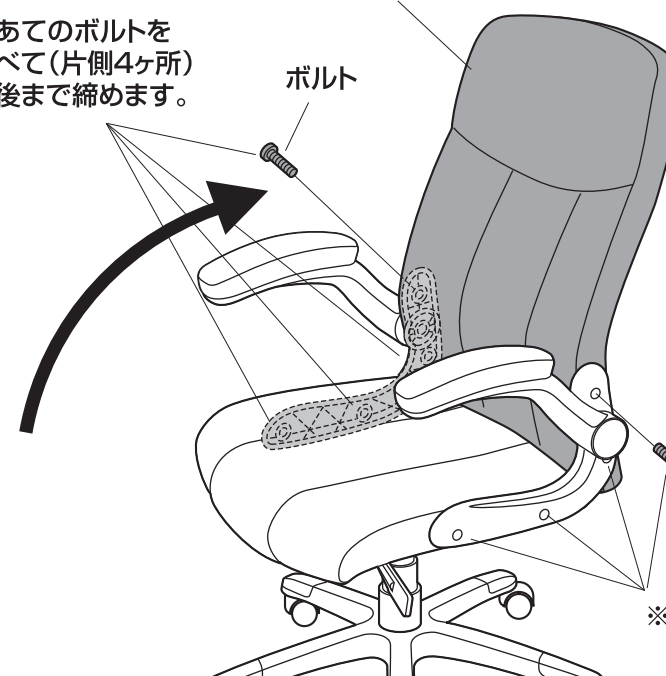
使用ボルト



ボルト (M6×20)

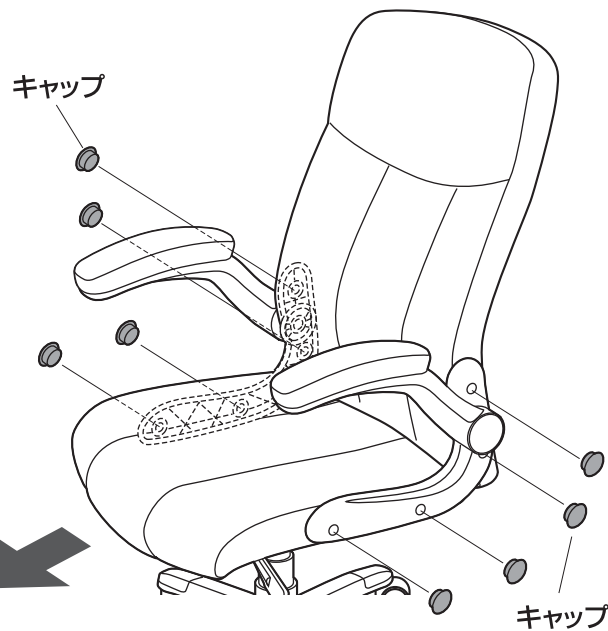
穴を合わせて、ボルトで固定します。

※肘あてのボルトをすべて(片側4ヶ所)最後まで締めます。



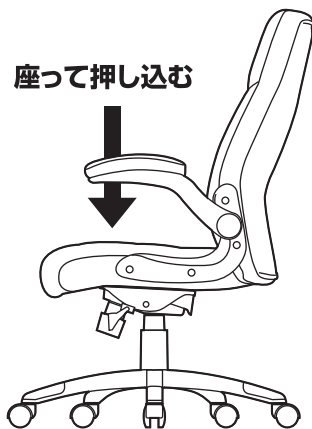
8

肘あてにキャップを取付けて完成です。



最後に

※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。



※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
 ※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
 ※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。

チェアの品質表示

外形寸法:幅695×奥行810×高さ1060~1155mm (座面高さ675~770mm)
 構造部材:座部・背もたれ部/合板 脚部/ポリプロピレン 肘あて/ポリプロピレン
 キャスター部/ナイロン 張り材:布、ポリウレタン クッション材:ウレタンフォーム

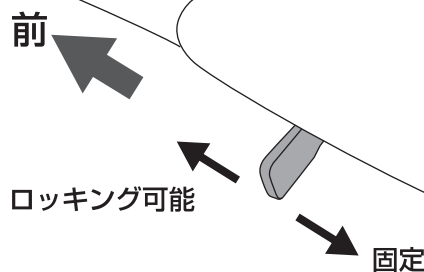
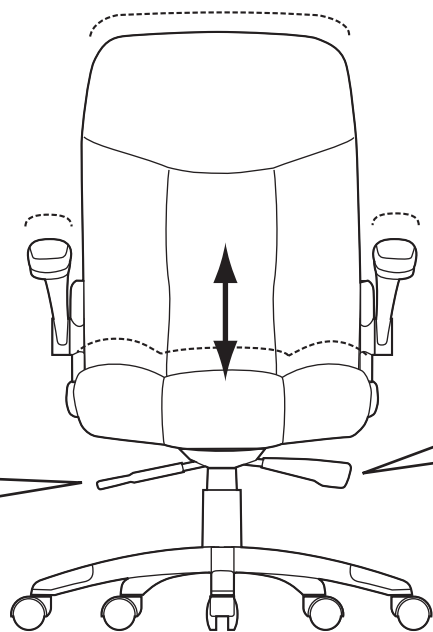
▲ 使用上の注意 ▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面、肘あての上に登らないで下さい。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。

各部の調節方法

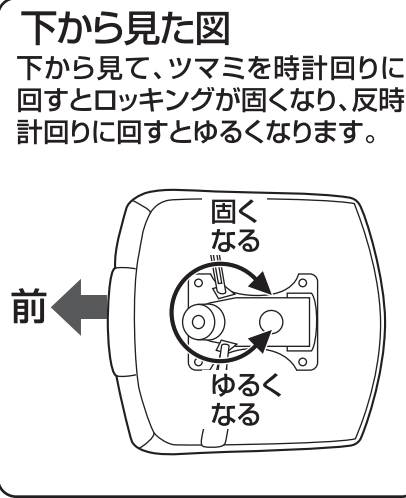
▲ 注意 ▲

レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。
 正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面ブラケットを差し込み直してください。



ロッキング中にレバーを後方向に引くと背もたれを任意の角度で固定することができます。

※レバー前にしてもロッキングが可能にならない時は、背もたれを後方に少し倒すと固定が解除され前に動くようになります。



肘あては上に跳ね上げることができます。

